

# 県民の命を守り、くらし、福祉、教育優先の県政を



## 日本共産党地方議員団が対県交渉

5月18日、日本共産党滋賀県地方議員団は、「県民の命を守り、くらし、福祉、教育優先の県政を求める要望書」を三日月大造知事あてに提出し、担当課に実現を迫りました（写真）。要望は、原発再稼働反対や原子力防災の拡充、国体会場整備の見直し、子どもの医療費助成の拡充、保育所の待機児童解消・保育士確保、養護学校卒業後の進路支援、生活保護削減の中止要請、鳥獣害対策強化、茶産地寒干害の救済措置、小学校の英語教員の配置など約60項目。交渉には、県議3名、各市町議ら20名が参加、甲賀市議員団からは山岡議員、岡田議員が参加しました。

### 国体会場整備は見直すべき

彦根市民センターの解体を中止すること、総額200億円の彦根主会場整備は抜本的に見直し、現在の県立陸上競技場を使用し縮減に努めること、94億円を要する新県立体育館の建設は中止すること等の要望に対し、県の担当者からは、限られた敷地において国体を開催するには、彦根市民センター、陸上競技場を解体して整備を行う必要がある。県立体育館は、びわこ文化公園都市内に移転整備することとしたとの回答がありました。

担当者が、6月後半から現在の県立陸上競技場を解体すると述べたことにに対し、杉本県議は「知事選挙の争点になつていくことから、知事選挙が終わるまで解体は待たすべきだ」と訴えました。

### 茶産地への救済・救済措置を

信楽町、土山町など県内の茶産地で、今年は40年ぶりに寒干害が生じ、約3割の減収、5割を超える被害など茶農家に深刻な打撃となつている。実態把握、救援・救済措置を講じること、茶を対象にした共済制度の確立をとの要望に対し、県の担当者からは、被害の多い信楽では対策指導などを行った、引き続き状態把握、聞き取り調査などを実施する、平成31から「農業経営収入保険事業」が実施される予定であり、制度の周知と加入促進に努めるとの回答でした。

担当者が共済制度の確立は難しいと述べたことにに対し、山岡議員は、京都には制度があるのに滋賀にはなぜないのか、ぜひ滋賀でも共済制度を検討してもらいたいと訴えました。

## 6月議会日程

6月4日	本会議	議案上程
6月12日	本会議	議案審議
6月14日	本会議	一般質問
6月15日	本会議	一般質問
6月18日	本会議	一般質問
6月19日	本会議	一般質問
6月20日～25日	各委員会	
6月28日	本会議	議案採決

ぜひ傍聴にお越しく下さい。

## 甲賀市選挙管理委員会 松山委員長が退職

### 開票事務不正調査特別委員会

衆院選白票水増し問題を検証する開票事務不正調査特別委員会（全議員で構成）が5月17日に開催されました。その中で松山仁選管委員長が問題の責任を取り、25日付で委員長と委員を退職する意向を表明しました。

退職について松山委員長は、選挙不正の再発防止策を審議している第三者委員会から25日までに、知事選に向けた中間報告を受け取ることから、一定の改善策が出ることとし区切りとして決断したと説明をしました。25日の臨時選挙管理委員会承認の判断がされ、承認されれば、補充員の下川昂氏が、新たな委員長となります。

しかし、事件の本質は明らかになつておらず、今後も真相解明に向け、市当局へ十分な説明を求めていく必要があります。

## 日本共産党

## 甲賀市議員団ニュース

2018年 5月27日 第217号



山岡 光広  
甲南町森尻 16  
TEL 86-2985  
Fax 86-0415



小西喜代次  
信楽町勅旨 456  
TEL 83-0765  
Fax 83-0765



岡田 重美  
土山町南土山甲 78-15  
TEL 66-0696  
Fax 66-0696